



# 多様な工法を用いた鋼製下地で 安全で快適な床を提供

株式会社 染野製作所は、1943 (昭和18) 年に創業。1968 (昭和43) 年に茨城県牛久市で設立し、建築用鋼製下地材を販売・製造するメーカーとして、牛久市の本社・工場と東京支店を中心に全国展開しています。主力製品である体育館の鋼製床下地材は、さまざまな工法を取り揃え、競技や用途の多様化に対応する高性能の床を提供。国内シェア25%で、全国の主要な体育館で数多く採用されています。

取り扱い製品について、また今後注力していきたいことなどを染野真一社長にうかがいました。

## 体育館の床下地材に 日本で初めてスチールを使用

当社は1968 (昭和43) 年に私の祖父が設立し、私で5代目になります。“染野”という床のメーカーだと思われる方が多いですが、もともと軽量鉄骨下地材の販売会社としてスタートしました。

体育館の下地は今では鋼製が主流ですが、1969 (昭和44) 年に東京大学教養学部の体育館に当社の鋼製床下地が採用され、これが日本で最初にスチールを使用した事例でした。その後改良を重ね、1971 (昭和46) 年に鋼製床下地「ジム・エース」を開発。業界で初のJIS規格を取得し、現在も当社の主力製品として全国の多くの体育館で採用されています。

「ジム・エース」は、フローリングなど仕上材の下に設置したスチール製の床下地で強度や耐久性を確保しています。最近では体育館やアリーナを競技以外のイベントや展示会などに使用することも多いため、そういう多目的用途には耐荷重性能に優れた「ジム・エース スーパー G形」を提供。都市部など建物の上階に体育館を設ける場合には、階下への遮音を重視した「ジム・エース スーパー L形」など、業界をリードする商品を取り揃え、施工実績は全国で約30,000カ所にのびります。



「ジムエース」の構造。  
ジムエースは優れた強度と耐久性を兼ね備え、各自治体や設計事務所の方々に高評価をいただいております。



アリーナスポーツのトップ選手によるアンケート「一番プレーしやすいアリーナ」のトップ10に、東京体育館など当社仕様の床が5件選ばれました。(一般社団法人 アリーナスポーツ協議会のアンケート結果より)

## 緩衝性と反撥性を組み合わせた さまざまな弾力の床を用意

当社が体育館の床で大切にしていることは、利用者にとって安全で快適であるということです。運動のしやすさは、主に床の弾力性によって判断されますが、小・中学校の体育館は安全性を重視しやわらか目に、バスケットボールは硬めなど、競技や用途によって求められる弾力が異なります。当社は、緩衝性と反撥性を組み合わせた工法により、さまざまな弾力の床をラインナップすることで、利用者のニーズや競技ごとに最適な床を提供しています。その対応力と性能が評価され、トップアスリートが使用するナショナルトレーニングセンターや東京体育館などにも当社の製品が採用されています。

最近ではバスケットボールやバドミントンなど専用体育館の相談も多く、そ

ういった時には茨城県牛久市にある工場に来ていただき、弾力性の違う床をいくつか組んで、実際に競技をする方に体感してもらいながら仕様を選択します。また、近年需要が増えている経年劣化による改修にも対応しています。

## 鋼製下地材の技術を活かした 地震に強い天井工法を開発

創業当時からの商材である天井下地材や壁下地材も、これまでに培った鋼製下地材の技術を活かし、耐震性に優れたものを取り揃えています。今後職人が減っていくことも視野に入れ、自社で開発した部材を使用することで簡単に効率的に組み上げられる施工性の高さも追求しています。

これらも体育館床下地と同様に当社の主力製品となるよう、現在、より耐震性の高い天井工法を開発中です。



**SOMENO** 株式会社 染野製作所

<http://www.someno.co.jp>

建築用鋼製下地材 (壁・天井) や建築用組床構成材 (体育館、重層体育館用など)、プール用可動床などの設計・開発及び製造、販売。

本社・工場 〒300-1231 茨城県牛久市猪子町648  
東京支店 〒144-0051 東京都大田区西蒲田7-60-1 染野ビル

TEL: 029-872-3151 (代) FAX: 029-873-3330  
TEL: 03-3735-4891 (代) FAX: 03-3736-9797